

これが 公民館報

第308号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,946	世帯
人口	4,712	人
男	2,287	人
女	2,425	人

(平成29年1月1日現在)

子供たちの手で新年を祝い、今年もスタート!
しめ飾りと書き初めで伝統のお正月に

しめ飾り体験学習会



子ども会育成会主催の「しめ飾り体験学習会」が十二月十一日に赤松館にて開催されました。児童十二名と育成会役員や保護者十二名が参加し、山岸会長のあいさつの後、瀧澤前会長の指導でしめ飾り作りを行いました。まずわらで縄をなうことから始めました。以前参加した児童もいますが、初めての参加者はコツを覚えるのに苦労しているようです。

しめ飾りの縄は「左締め」が多いため経験者でも手の動かし方が難しいようです。二時間ほどで全員が対の松飾りを完成させました。完成品は正月に飾られました。

書き初めで 新たな年のスタートを



お正月恒例の書き初め教室が一月四日に支所三〇二会議室で午前と午後の二回に分けて開催され、合わせて約二十人の小中学生が参加しました。

午前の部には十人が集まり、講師の小峰眞佐子さんの指導を受けながら、学校の宿題や市民タイムスの書き初め展に出す作品に取り組みました。「正月の朝」生きる力など学年ごとに題材が決まっており、子供たちは持参したお手本を見ながら、私語を交わすこともなく、集中して筆を運んでいました。会心の作が書けるまで十枚以上の用紙を使う子供もいて、墨の香りの漂う会場は新春らしい引き締まった空気に包まれました。



生涯学習 フェスティバル 2016



十一月二十日に開催された「生涯学習フェスティバル二〇一六」は二部構成として、第一部に「地域医療フォーラム」が行われました。

会田中学校出身で会田病院院長の望月太郎先生をコーディネーターに、同じく会田中学校出身でそれぞれ医療の現場で活躍されている、伊藤邦泰先生、瀧澤正浩先生、中島潤子先生、松澤賢治先生、丸山恵子先生をパネリストに「四賀地区で暮らし続けるため

に地域の医療を考える」をテーマにパネルディスカッションがあり、貴重な意見が交わされました。まずは地元での受診をとのことでした。それに先立って、各先生の自己紹介を兼ね、自らの進路を目指した学生時代が語られました。後輩である現役中学生の指針となったことと思います。

第二部は「生涯学習活動発表」です。福寿草倶楽部各サークルの発表、福寿草劇団の民話劇「見よ！観音が追ってくる！」が披露されました。



松本市文化芸術功労受賞記念 内川絵理奈 ピアノリサイタル



松本市四賀音楽村の一環として、十二月三日に三回目となる五常出身の内川絵理奈さんのピアノリサイタルがありました。クラシックの名曲から童謡・唱歌、中島みゆきの「糸」が奏でられました。そして以前伴奏をしていた四賀混声合唱団との共演、会場のピナスホールは美しい音楽で満たされました。

四賀地区人権啓発推進協議会 石の鐘の想い 今井地区 文化財めぐりウォーキング



十一月二十九日、四賀地区人権啓発推進協議会による研修視察がありました。人権啓発推進協議会委員など十八人で信濃町の「称名寺」と「一茶記念館」へ行ってきました。「称名寺」は、第二次世界大戦中に「金属回収令」によって梵鐘を供出、「石の鐘」が七十年以上経た今も吊るされています。それは、ご住職の佐々木五七子さんのかつての戦争への反省と怒りの静かな想いの結晶であり、石の鐘が新たな戦争を許してはならないと無言で語っているかのようです。

午後は、生涯に二万句もの俳句を残したと言われている「一茶記念館」を見学してきました。



十二月七日、今井地区文化財めぐりウォーキングを二十二名で行いました。

今井は、西側地帯が河岸段丘となつている以外はほぼ平坦地です。鎖川が上流で伏流するため水量が少なく、今井の歴史は「水争いの歴史」とまで言われましたが、戦後に中信平総合開発により梓川の水が引かれ、現在は水田、果樹、野菜が生産され、水争いも遠い昔の語り草になつているとのこと。

地区内に存在する史跡も説明が設置されており、管理が行き届いていました。西北山出身の今井地区文化財委員長原勝美さんから説明を受けながら、楽しいひと時を過ごし、鉢盛山を眺めつつ帰路につきました。

殿村遺跡旧会田小学校校庭 第8次発掘調査現地説明会開催



松本市教育委員会では、十二月十日に第8次現地調査説明会を開催した。今回は、旧会田小学校の校庭です。第1次調査の旧会田中学校校庭と同様平場が見つかり、五百年以上前の室町時代に造成されたことが確認された。出土物も天目茶碗や茶道具、文房具も出土し、この場所に重要な施設が存在したことが確認された。この三〇〇四方に広がる大規模な遺跡、遺構や遺物から、宗教施設の可能性が高まってきたと報告された。中世の古文書、絵図から複数の寺の存在。嘗える虚空蔵山。すなわち「霊場(神仏を祭つた神聖な地)」ではなかったかと。しかしながらその時代会田盆地を治めていた「会田氏」との関係も気になります。真実の歴史が究明されることに期待します。

地域交流を活発に気軽に集える場づくり推進のため 助成金を有効活用

赤怒田町会では、この度、財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を活用して行うコミュニティ助成事業による補助金160万円を受けて公民館に長机10台、椅子33脚、印刷機を購入しました。近く各常会の新年会、また町会総会など、町会の行事や会議その他親睦会などで活用し、より大勢の皆さんが集まりやすく使いやすい公民館として整備されました。

湧き水

▼ある人に対して「気が置けない」という言葉があります。その語感から「気を使わなくてはいけない。配慮しないといけない」という意味にとる人が多いようです。

▼実は「気を置く」という言葉が「気を使う。配慮する」という意味なので「気が置けない」は「気を使いたくても使えない」という意味のようです。要するに「その人」といって「気を使わずにいてしまう」ということになるのです。それが「何故まるで反対の「気を使う」と思ってしまうのでしょうか？」

▼「置けない」置くことができな「いな」という否定の感覚が漠然と「禁止」を連想させ、禁じられること、強制されることと考えてしまい、その感覚がマイナスイメージを生み「気を使わなくてはいけない。配慮しないといけない」と思ってしまうのかも…。

四賀地区担当
清本 悠 保健師
四賀支所にいます！
●2月8日(水) 1:00~3:00
●3月6日(月) 1:00~3:00
お気軽にご相談ください。

祝 成人式
会田中学校
平成29年1月8日 松本市総合体育館